

環境家計簿（市のホームページに掲載しているほか、市役所・各支所・市民会館に備え付けています）市のホームページ

<http://www.city.noribetsu.hokkaido.jp>

ラベル	名称	目的・内容
	エコマーク	資源の再生利用など、環境にやさしい商品に付けられるマーク
	国際エネルギースターマーク	省エネ型のOA機器に表示される日米共通のマーク
	低排出ガス車認定マーク	自動車の排出ガスの低減レベルを3段階で示すマーク
	グリーンマーク	古紙を原料に利用した製品を示すマーク

環境ラベルの例

「グリーン購入」で環境にやさしい製品を資源となるごみを回収するだけでなく、再生利用された製品を使わなければ、リサイクルのシステムは崩れてしまいます。



二階堂一男さん

平成13年4月に施行された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（通称・グリーン購入法）では、国の各機関や地方自治体などが物品を調達する際に、できる限り環境への負荷が少ない物品の調達に努めるよう定められました。

これに基づき、市役所では調達方針を定め、紙や事務用品などを中心に、環境に配慮したりサイクル製品を積極的に購入しています。市企画課で「環境」を担当している主査の二階堂一男さんにお話を伺いました。

「市は、リサイクル製品などのほか、省エネルギータイプの照明器具や低燃費・低排出ガスの公用車を使用しています。行政だけではなく、社会全体でグリーン購入に取り組みることができれば、エネルギーや資源

の消費量が減り、二酸化炭素や廃棄物の発生を抑えることができます」では、私たち市民に日常生活の中

「身近なところでは、安い物で再生紙のトレットペーパーやノート、ペットボトルなどを再生した文具や日用品、省エネ型の家電製品や蛍光灯を購入するよう心がけてください。価格も従来の製品と同等のものが多いです。環境にやさしい製品には、環境ラベルが付けられていますので購入時の目印になります。市民や事業者のみならず、二階堂さんは話してくれました。

楽しみながらつける「環境家計簿」

「私たちの日常生活は、どのくらい環境に負荷を与えているかわかりますか」と話すのは、登別消費者協会会長の掛端榮子さん。

「環境家計簿」は、環境への負荷を測る方法の一つで、電気やガス、灯油、水道などの使用量を家計簿のように記録します。家庭で地球温暖



掛端 榮子さん

化の原因となっている二酸化炭素の排出量がわかりますよ」

登別消費者協会では、役員のみならず、2年前から本格的に環境家計簿に取り組んでいます。

「環境家計簿をつけ続けることは多少手間がかかりますが、自然に節電や節水などを意識するようになりました。エネルギーの消費量が減れば、二酸化炭素の排出量を抑えられます。省エネルギーや限りある資源の有効利用を図ることもできます。前年の環境家計簿と比べ、使用量が減っているとうれしくなりますね。それは、電気やガスの料金も減っていますから、主婦としては当然なのかも知れません。ぜひ市民のみならず、二階堂さんは話してくれました。

環境問題の解決には一人ひとりの取り組みが大事

環境問題には、身近なことから、私たちには想像がつかない規模のものまで、さまざまな問題があります。私がこの取材を通して感じたことは、紹介した取り組みが、どれも普段の生活の中で気軽に始められることばかりで、市民一人ひとりの取り組みがとても大事ということでした。みなさんも、友人や近所の方などと一緒に、できることから生活を見直してみませんか。

あなたも市民リポーターになって、市内の話題やまちの動きなどをリポートしてみませんか。平成16年度市民リポーターについての申し込み・問い合わせは情報推進課（広報広聴）（☎856586）まで。